

# 常任委員会視察報告

## 総務委員会

(10月19日～20日)

## 文教福祉委員会

(10月13日～14日)

### 「兵庫県佐用郡佐用町の防災対策について」 「兵庫県姫路市の広告事業について」

佐用町は、平成21年8月9日の台風第9号により、死者18名、行方不明者2名の人的被害をはじめ、1700戸以上の家屋が損壊し、避難者数2千人以上の大災害となりました。

町役場1階は水没し、住民課が危機管理を担当していましたが、そのコントロール機能がなくなり、役場機能自体の継続ができない状況でした。

愛西市の増築棟は、委員会などで災害対策について協議を重ね、災害対策本部など災害時の拠点を3階に集約しています。水害に対する備えの重要さを再認識しました。

災害後、本市と同様に自主防災会に力を入れており、実際の災害時に動かなかつたという反省点から、補助金を出して訓練の実施をするよう呼びかけています。水害を想定した訓練の重要さを痛感させられるも

のでした。

姫路市では、財政状況が年々厳しくなる中、広告事業による歳入の確保を、全庁をあげて積極的に推進していくテーマと位置付けています。



広告収入の所管課は12課にも及び、姫路市行財政改革プランで掲げる4つの柱の1つとなっております。

さらに今年度は「あなたの所管課で広告事業は出来ませんか?」との、問いかけチラシを作成中との説明を受けました。

広告収入を増やすためには担当部局の枠にとらわれないといった、柔軟な姿勢が今後の参考となります。

### 「兵庫県南あわじ市ヘルスアップ尼崎戦略事業について」 「兵庫県南あわじ市いじめ防止基本方針について」

ヘルスアップ尼崎戦略事業は、国保被保険者の健康寿命を延ばし、結果としての医療費適正化を目指す取り組みです。不適切な生活習慣を早期に見つけ、重症化する前に生活を改善することで、健康寿命を延ばし、入院や高額な医療費を削減します。尼崎市ではコンビニを健診会場にしたり、楽しみながら健康づくりを継続できる、「未来いまカラダポイント制度」(健診受診や保健指導を受けてポイントを貯め商品と交換できる)を実施しています。また子どもたちの生活習慣病の予防には11歳と14歳の子どもを対象に健診「尼っこ健診」を実施するなど健康づくりの工夫がされています。

南あわじ市のいじめ防止基本方針は、全ての児童生徒が安心して学校生活を送り、心の通い合う人間関係を構築できる社会性を育むために、市・学校・地域住民・家庭などの関

係者が連携し、いじめ問題の克服に取り組むために策定されました。市教育委員会は、家庭、地域、関係機関の連携強化のため連絡協議会を設置するとともに、重大事態があった場合は問題対応委員会で調査し、市教育委員会から市長、市議会へと報告され、必要な場合、市長は調査委員会を設置し再調査を行います。また、学校内では生徒会が組織するいじめ対策委員会(FLC活動)を設置するなどいじめを未然に防ぐ取り組みが行われています。

